



CHAPTER 33

Cisco Unity Connection 8.6(2) 以降での SpeechView 音声テキスト変換エラーコードの管理

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.6(2) 以降での SpeechView 音声テキスト変換の概要」 (P.33-1)
- 「Cisco Unity Connection でのデフォルトの音声テキスト変換エラーコード」 (P.33-2)
- 「Cisco Unity Connection での新規音声テキスト変換エラーコードの追加」 (P.33-3)
- 「Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラーコードの変更」 (P.33-3)
- 「Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラーコードの削除」 (P.33-4)
- 「Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラーコードの検索」 (P.33-5)

Cisco Unity Connection 8.6(2) 以降での SpeechView 音声テキスト変換の概要

送信者がボイスメールを SpeechView ユーザに送信すると、受信されたボイスメッセージは、音声テキスト変換のために Nuance に送信されます。音声テキスト変換されたボイスメッセージが Cisco Unity Connection に戻されます。ただし、音声テキスト変換で不具合が発生すると、Nuance から Connection にエラーコードが送られます。

Cisco Unity Connection Administration インターフェイスには、Nuance から送信される可能性のある 5 つのデフォルトのエラーコードが表示されます。既存のエラーコードと関連する説明の変更/削除ができるのは、管理者だけです。管理者にはエラーコードを新たに追加する権限もあります。新しいエラーコードが Nuance から送信されるたびに、管理者は新しい Nuance サーバコードと適切な説明を追加する必要があります。

次の点に注意してください。

- エラーコードとその説明は、デフォルトのシステム言語で記述されている必要があります。
- エラーコードのプロビジョニングが行われていない場合は、Nuance から受け取ったエラーコードが表示されます。

Cisco Unity Connection でのデフォルトの音声テキスト変換エラー コード

Cisco Unity Connection Administration ページの [ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [SpeechView 文字変換 (SpeechView Transcription)] で、[エラー コード (Error Codes)] を選択すると、[文字変換エラー コードの検索 (Search Transcription Error Codes)] ページにデフォルトのエラー コードが表示されます。次のデフォルトのエラー コードが Nuance から SpeechView ユーザに送信されます。表 33-1 に、Cisco Unity Connection Administration インターフェイスでのデフォルトのエラー コードを示します。

表 33-1 デフォルトのエラー コード

エラー コード名	説明
Fault	登録に失敗しました Connection が Nuance に登録しようとして失敗した場合に発生します。
Inaudible	システムがメッセージの音声テキスト変換を行うことができませんでした SpeechView ユーザから送信されたボイスメールが、Nuance サイトで聞き取りにくい場合に発生します。
Rejected	システムがメッセージの音声テキスト変換を行うことができませんでした Nuance サーバが SpeechView ユーザから送信されたボイスメールを変換できない場合に発生します。
Time-out	音声テキスト変換要求がタイムアウトになりました Nuance からの応答がタイムアウトになった場合は常に発生します。
Unconverted	システムの設定上の問題により、音声テキスト変換に失敗しました。メッセージを開くにはボイスメールを呼び出してください 会話要求に複数のオーディオ ファイルが添付されている場合、Nuance はそのメッセージを拒否します。



(注)

上記の表の太字部分は、ユーザに表示されるデフォルトのエラー コードの説明です。

Cisco Unity Connection での新規音声テキスト変換エラーコードの追加

音声テキスト変換エラー コードを新たに追加する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [SpeechView 文字変換 (SpeechView Transcription)] の順に展開し、[エラー コード (Error Codes)] を選択します。
- ステップ 2** [文字変換エラー コードの検索 (Search Transcription Error Codes)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [新規文字変換エラー コード (New Transcription Error Code)] ページにエラー コードとエラー コードの説明を入力して、新規エラー コードを作成します。



(注) * (アスタリスク) マークの付いたフィールドは必須です。

- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** [新規文字変換エラー コード (New Transcription Error Code)] ページで既存のサーバ コードを検索して保存するには、[文字変換エラー コード (Transcription Error Code)] メニューを選択します。
- ステップ 6** 保存する前に新規エラー コードの値を消去するには、[リセット (Reset)] メニューを選択します。

関連項目

- [New Transcription Error Code](#)

Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラーコードの変更

既存の音声テキスト変換エラー コードを変更する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [SpeechView 文字変換 (SpeechView Transcription)] の順に展開し、[エラー コード (Error Codes)] を選択します。
- ステップ 2** [新規文字変換エラー コード (New Transcription Error Code)] ページで、変更するエラー コードの表示名を選択します。



(注) 変更するエラー コードが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** [文字変換エラー コード (Fault) の編集 (Edit Transcription Error Code (Fault))] ページで、エラー コードまたはエラー コードの説明を必要に応じて選択します。
- ステップ 4** [文字変換エラー コード (Fault) の編集 (Edit Transcription Error Code (Fault))] ページで設定の変更が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

- ステップ 5** 次の既存のエラー コードに移動するには、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 6** 前の既存のエラー コードに移動するには、[戻る (Previous)] を選択します。
- ステップ 7** [Nuance サーバ コード (Fault) (Nuance Server Code (Fault))] ページに新規エラー コードを追加するには、[文字変換エラー コード (Transcription Error Code)] メニューを選択し、[新規文字変換エラー コード (New Transcription Error Code)] を選択します。
- ステップ 8** 既存のエラー コードを削除するには、[削除 (Delete)] を選択するか、[Nuance サーバ コード (Nuance Server Code)] メニューを選択して [文字変換エラー コードの削除 (Delete Transcription Error Code)] を選択します。

関連項目

- [Edit Transcription Error Code](#)

Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラー コードの削除

既存の音声テキスト変換エラー コードを削除する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [SpeechView 文字変換 (SpeechView Transcription)] の順に展開し、[エラー コード (Error Code)] を選択します。
- ステップ 2** [文字変換エラー コードの検索 (Search Transcription Error Codes)] ページで、削除するスケジュールの表示名の横にあるチェックボックスをオンにします。



(注) 削除するエラー コードが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 4** 削除の確認を求めるダイアログボックスで、[OK] を選択します。

関連項目

- [Delete Transcription Error Code](#)

Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラー コードの検索

音声テキスト変換エラー コードを検索する方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユニファイド メッセージング (Unified Messaging)] > [SpeechView 文字変換 (SpeechView Transcription)] の順に展開し、[エラー コード (Error Codes)] を選択します。
- ステップ 2** [Nuance サーバ コードの検索 (Search Nuance Server Codes)] ページで、ドロップダウンリストから [エラー コード (Error Codes)] または [エラー コードの説明 (Error Code Desc)] を選択します。
- ステップ 3** テキスト ボックスにエラー コードかエラー コードの説明を入力します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] を選択します。
-

関連項目

[Search Transcription Error Codes](#)

■ Cisco Unity Connection での音声テキスト変換エラー コードの検索